

保健体育専修

授業科目名	担当者	講義概要
学校教育論	岡谷英明	現代学校の課程を理論的に解明することを目的とする。変貌する社会の中で教育システムがどのように編成されるべきかを考える。
学校経営論	平井貴美代	学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項について学習するとともに、開かれた学校づくりや学級崩壊など、最近とくに話題となっている問題についてアプローチするための視点や方法を検討する。 テキスト使用：『新版 学校教育の基礎知識』（協同出版）
生徒指導論	高柳真人	児童・生徒の自己指導能力を育てながら、その自己実現を援助するというガイダンスの視点に立った生徒指導を進めていくための理論や方法について学ぶ。
学習指導論	馬場園陽一	自ら学ぶ意欲や考える力の育成を目指す授業の方法、一人一人の児童生徒の良さを生かす授業の方法、さらにはこれらの力の育成を目指した教育評価の方法について、その理論的側面を探り、学習指導への実践的なアプローチを試みる。また、新しい学力観のもとで実践されている様々な授業方法（例えば、体験学習、総合学習、問題解決的学習、コース別学習、T・T等）についても紹介し、学力形成との関係を論じる。
教育相談論	金山元春	教育相談は、人間関係の営みの中で行われる実践活動である。本授業では、受講生の人間関係能力の開発を通じて、教育相談の実践力の向上をはかる。具体的には、グループワークを活用し、自己理解、他者理解を深めたり、社会的スキルを学んだりする機会を提供する。講義については、実践経験豊富な研究者あるいは実務家でありながら学会等で活躍されている方の研究成果を上げる。
情報演習Ⅰ	中西 秀男	高度情報化社会に積極的に対応できる情報処理の基礎能力を身に付けた教員の養成を目的として、コンピュータとソフトウェアの基本操作並びにネットワークの利用方法に関する演習を行う。情報演習Ⅰでは、Windowsの基礎、電子メール、文書処理及び表計算などよく利用される機能を中心に基本操作に重点を置いて演習する。
情報演習Ⅱ	赤松 直	ある程度習熟した人を対象に、コンピュータの活用能力、情報処理に関する総合力を身に付けることを目的として演習を行う。内容は、ネットワークの設定およびその基礎知識の習得、ホームページ作成、各種ソフトウェアの活用などである。これらを通して、情報化社会の課題や情報リテラシ教育についても一緒に考えることにする。自前のノートパソコンを携行願いたい。
保健体育科教育特論Ⅰ	刈谷三郎	保健体育科教育の授業研究に関する基礎的理論研究の成果や諸問題を論じ、それらの授業分析への適応について論述する。
保健体育科教育特論演習Ⅰ	刈谷三郎	保健体育科教育の授業研究に関する内外の文献講読をするとともに、運動の学習指導の基礎理論を導き出すための実践例をとりあげ、授業分析や考察について演習を行う。
保健体育科教育特論Ⅱ	神家一成	保健体育科教育の基本的在り方や、今日の急激な社会変化に伴って求められている、新しい保健体育科教育の在り方について論究する。
保健体育科教育特論演習Ⅱ	神家一成	保健体育科教育の授業に関する文献輪読をするとともに、「運動の教育」「スポーツの教育」の視点に基づく授業分析や考察について演習を行う。
体育学特論Ⅰ	稲田俊治	体育とスポーツに関する社会的諸問題に関することからのなかで、特に両者の相互関係の問題について、主要な構成要素を比較分析し、生涯スポーツの観点から統合的な解決策について論究する。

保健体育専修

授業科目名	担当者	講義概要
体育学特論演習Ⅰ	稲田俊治	体育・スポーツ社会学の内外の文献講読を行わせるとともに、生涯スポーツ振興の諸条件や学校体育と地域スポーツの相互関係についての資料の収集、整理、考察を行う。
体育学特論Ⅱ	辻田 宏	体育・スポーツのマネジメントの基本的な理解を踏まえて、さらにその概念を拡げ、体育・スポーツ政策及び行政、体育・スポーツ法(Law)、スポーツ産業経営などについて論究する。
体育学特論演習Ⅱ	辻田 宏	体育・スポーツのマネジメントに関する内外の文献講読をすすめるとともに、学校スポーツ、地域スポーツ、プロスポーツを貫くマネジメントの在り方について、事例を通して具体的な検討を行う。
運動学特論Ⅲ	山田敦子	運動の特性、技術構造を運動方法論の立場から捉え、それらの成果を実践に反映させるための指導方法論をダンスを中心に論述する。
運動学特論演習Ⅲ	山田敦子	運動学に関する文献や資料の講読を行わせるとともに、運動方法論に関する資料を、特にダンスに関して収集整理し、考察の仕方について演習を行う。
運動学特論Ⅳ	野地照樹	運動の特性、技術構造を運動方法論の立場から捉え、それらの成果を実践に反映させるための指導方法論を球技を中心に論述する。
運動学特論演習Ⅳ	野地照樹	運動学に関する文献や資料の講読を行わせるとともに、運動方法論に関する資料を、特に球技に関して収集整理し、考察の仕方について演習を行う。
運動学特論Ⅴ	駒井説夫	身体活動にともなう身体・諸機能の変化を運動生理学的側面から捉え、これらの理論と体育・スポーツの実践の場の関わりについて論述する。
運動学特論演習Ⅴ	駒井説夫	運動生理学に関する文献・資料の講読と演習を行う。
学校保健特論Ⅲ	本間聖康	児童・生徒の健康・体力に関する実態や問題点を、種々の文献や資料を通して明らかにする。
学校保健特論演習Ⅲ	本間聖康	学校保健特論Ⅲにおいて明らかにしてきた問題点の内容を検討・整理し、その解決のための方策について考察する。
保健体育科教育実践研究Ⅰ	刈谷・神家	実際の授業を対象として保健体育科における教育課題をとりあげ、科学的、実証的な検討を通して教育実践の改善方策を保健体育科教育学の立場から研究することを指導する。

保健体育専修

授業科目名	担当者	講義概要
保健体育科教育実践研究Ⅱ	本間・稲田・山田・野地・駒井・辻田	保健体育科教育に関する附属校園等での授業研究を基に、教材の研究と開発、指導法について、保健及び体育学的視点から実証的に研究することを指導する。
保健体育科教育実践研究Ⅰ（長期インターンシップ）	刈谷・神家・本間・稲田・山田・野地・駒井・辻田	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、教材開発、学級経営、児童生徒の観察、子どもとのふれあいにもとづく単元計画作成、または、LD、ADHD、不登校、乳幼児等子どもの観察にもとづく実習計画案作成を行い、実践的な課題研究テーマ設定の基盤を形成する。さらに、単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、または、事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法に基づき省察することを通して、高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を育成する。
保健体育科教育実践研究Ⅱ（長期インターンシップ）	刈谷・神家・本間・稲田・山田・野地・駒井・辻田	各自の継続的研究課題を設定し、研究計画・資料の収集及び分析などの諸活動を通して、研究の方法を指導し、修士論文へと発展させていくよう指導する。
課題研究	刈谷・山田・稲田・本間・駒井・神家	各自の継続的研究課題を設定し、研究計画・資料の収集及び分析などの諸活動を通して、研究の方法を指導し、修士論文へと発展させていくよう指導する。